



Title	語文 第42輯 編集後記/投稿規定/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1983, 42
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68714
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

▽ 第四十二輯は例年のごとく国語学の論考を中心まとめていた。幸い、本年も講師としてお出で頂いている井手至先生から、「万葉集」の譬喩歌にかかる御高論を頂くことが出来た。

▽ 小山登久氏からは平安時代の公家日記の語彙についての御高論を賜わり、小林賢章氏からは『応仁記』の書承についての御高論が寄せられた。これらに国語学の大学院生の現代語の論考二篇を加えて、期せずして上代から現代にわたる、いろいろな視点の研究が揃うこととなつたのは喜ばしいことである。

▽ 第四十三輯は十二月末の締切りで、国文学の論考を中心として刊行される予定である。よろしく、労作をお寄せ頂きたい。

(前田富祺)

□ 投稿規定 □

- 直接購読者は投稿することができる。
- 原稿の内容は国語・国文学、国語教育に関するものであること。分量は四百字詰原稿用紙三十枚以内とする。

○原稿の送り先は「十五六〇 豊中市待兼山町一大阪大学文学部国文学研究室内、語文編輯委員」宛。

- 原稿の採否は編輯委員に一任のこと。
- 採用しなかつた原稿は返送料が添附してあれば返送に応ずる。
- 一括購読者が投稿する際には代表者から紹介せられたい。

◆雑誌の寄贈・交換・購読について
○雑誌の寄贈・交換・講読は十五六〇
豊中市待兼山町一大阪大学文学部国
文学研究室宛に願いたい。

(振替 大阪三一四三三二〇)
電話 ○六(八四)一一五一

ISSN 0387-4494

¥ 700

発行所 〒542 大阪市南区南船場4-10-14 文進堂 振替大阪112730番 電話(06)(251)1990番
編輯者 〒560 大阪府豊中市侍兼山町1 大阪大学文学部国文学研究室 代表 宮地 裕